

# 宇宙種の栽培

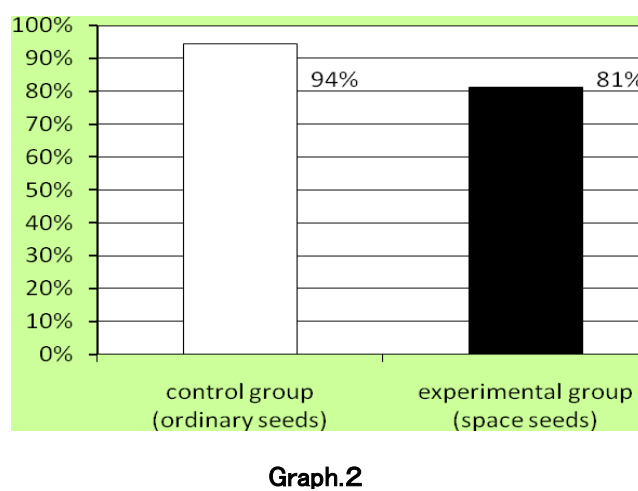
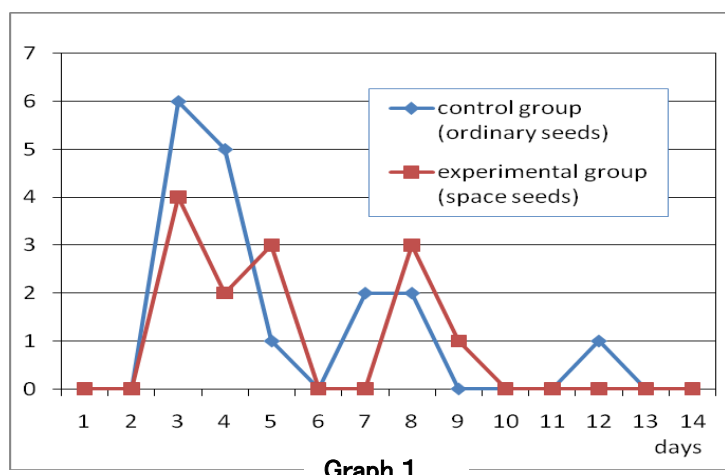
## Cultivation of "Space seeds"

栃木県立宇都宮高等学校

- 平成 21 年 9 月 26 日に播種し、実験を開始し、地球種と宇宙種の成長を観察した。
- 本校での栽培では、やや地球種に比べて生育の悪い種子がみられたものの、約7か月の宇宙滞在はミヤコグサの種子の保存状態にそれほど大きな影響を与えなかったと考えられる。
- 種子の状態ですべて宇宙船に保管し、移動することが可能であることを示唆する実験結果が得られたと考えられる。

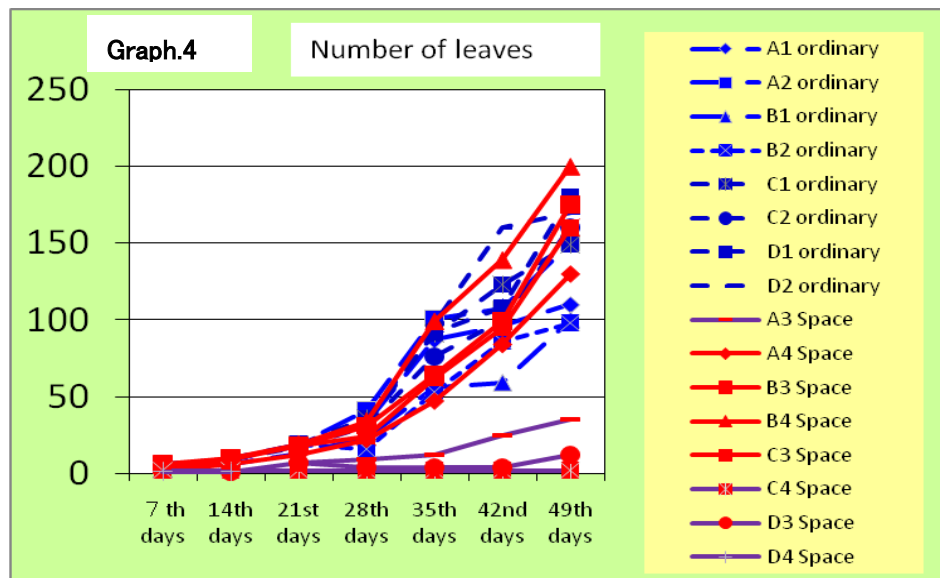
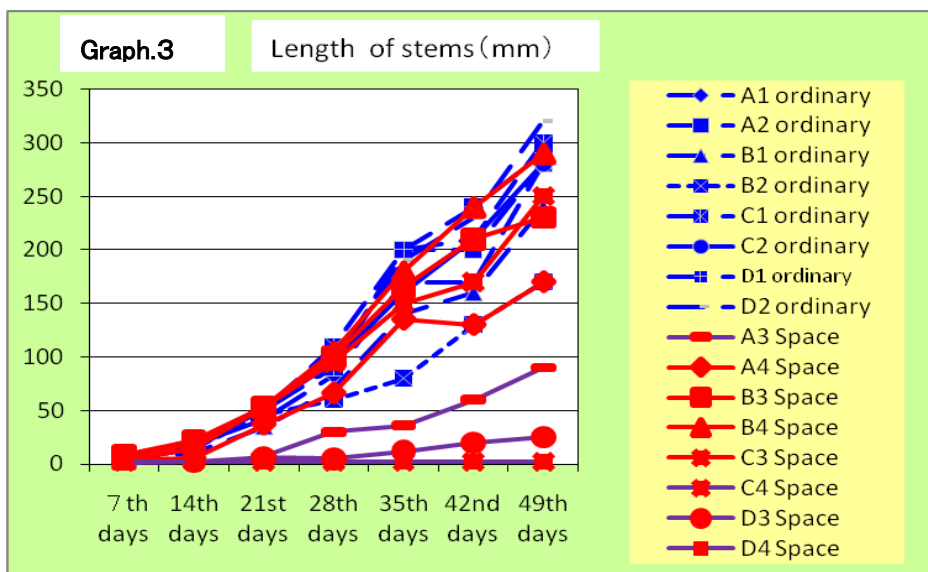


### 1 発芽



- 播種3日後から発芽する個体が見られた。
- 地球種の方がやや発芽率が良好であった。
- 宇宙種は発芽しても成長がよくないものが見られる。

### 2 成長



### 3 開花・結実

表1 花・さやの数 (播種後 70 日)

測定項目	1	2	3	4
A 茎長(mm)	310	300	120	280
A さや数	2	3		2
A 花の数(房)累積	4	4		3
B 茎長(mm)	280	250	280	300
B さや数	—	—	3	2
B 花の数(房)累積	2	2	3	4
C 茎長(mm)	340	250	320	
C さや数	2	—	2	
C 花の数(房)累積	3	2	3	
D 茎長(mm)	340	360		
D さや数	—	2		
D 花の数(房)累積	2	3		

表2 茎長・さや数・花の数のまとめ

	平均	
	地球	宇宙
茎長(mm)	304	262
さや数	2.3	2.3
花の数(房)累積	2.8	3.3

表3 開花日のまとめ

	平均	
	地球	宇宙
開花日	51	54.5

- 最終的に、A3、C4、D3、D4の4個体は、開花結実しなかった。(表1の黄色表示)
- 播種後1か月の段階で、成長の悪かったA3、C4、D3、D4の4個体を除いて結果を考察することにした。
- 水切りのタイミングがやや早かった。開花したもの種子の完成しないものがあった。(表1の「—」)
- 十分成長した個体間では、開花・結実に大きな差はみられなかった